

令和5年度情報サービス産業におけるアジャイル開発に関する調査

■ ご回答にあたって ■

【調査の目的】

情報サービス産業におけるアジャイル開発の活用度合いや浸透の実態、推進上の課題などを定量的に把握するために実施します。

【調査の対象】

会員企業のエンジニア

- ・プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー、チームリーダーのほか、システムエンジニア、プログラマーの方等を対象とします。
- ※アジャイル開発の経験は問いません。

【回答要領】

・本調査はエンジニア「個人」に対する調査です。各企業を代表して回答する調査ではありません。

多くの方のご回答をお待ちしております。

注1) 調査参加企業としての社名が JISA より公表されることはございません。

注2) JISA において個別企業に関する分析をすることはございません。

- ・ご回答には 10 分程度のお時間をいただきます。

【調査実施期間】

令和6年2月2日(金)まで

【問い合わせ先】

本件に関しまして、ご不明な点ご質問等ございましたら下記までお問い合わせください。

JISA アジャイル開発グループ事務局 担当：溝尾

TEL：03(5289)7651 EMAIL：mmizoo@jisa.or.jp

0. 回答者情報

(1) 勤務先企業名

(2) 連絡先メールアドレス：本調査の調査結果報告書送付をご希望の方は以下に 送付先メールアドレスをご記入ください。

I. 所属企業および業務についてお尋ねします。

(I-1) 勤続年数：あなたの勤続年数を数字でご記入下さい。

例) 10年 → 10

年

(I-2) 従業員数：御社の従業員数（正社員数）を選択してください。

- 1. 10人未満
- 2. 10人～50人未満
- 3. 50人～100人未満
- 4. 100人～300人未満
- 5. 300人～500人未満
- 6. 500人～1000人未満
- 7. 1000人～1500人未満
- 8. 1500人～2000人未満
- 9. 2000人～2500人未満
- 10. 2500人～3000人未満
- 11. 3000人以上
- 不明

(I-3) 役職：あなたの役職を選択してください。

- 1. 役員
- 2. 部門長
- 3. マネージャ、リーダー
- 4. 技術職、コンサルタント
- 5. その他（具体的に： _____)

(I-4) 担当職種：あなたの現在の担当職種としてもっとも適当なものを選択してください。

- 1. マーケティング
- 2. セールス
- 3. コンサルタント
- 4. ITアーキテクト
- 5. プロジェクトマネジメント
- 6. ITスペシャリスト
- 7. アプリケーションスペシャリスト
- 8. ソフトウェア開発
- 9. カスタマサービス
- 10. ITサービスマネジメント
- 11. エデュケーション
- 12. その他（具体的に： _____)

(I-5) 現在の業務：あなたの現在の業務はソフトウェア開発に関係していますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

Ⅲ. アジャイル開発の経験がある方にお尋ねします。

(Ⅲ-1) アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数：

あなたが関与したプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数を数字でご記入ください。

例) 10個 → 10

以下(Ⅲ-2)～(Ⅲ-17)の質問では、あなたが関与したアジャイル開発プロジェクトでもっとも代表的なものを選んでご回答ください。

(Ⅲ-2) アジャイル開発プロジェクトにおける役割：

あなたが果たした役割を1つだけ選択してください。

- 1. プロダクトオーナー/プロダクトマネージャー
- 2. 開発者
- 3. スクラムマスター
- 4. プロジェクトマネージャー
- 5. UI or UX デザイナー
- 6. QA
- 7. アジャイルコーチ
- 8. その他(具体的に：)

(Ⅲ-3) アジャイル開発手法を導入したきっかけ：

プロジェクトでアジャイル開発手法を導入したきっかけについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. 開発チームが自主的に判断し導入
- 2. 経営層や上司からのトップダウンでの指示
- 3. スポンサーや発注先からの指示
- 4. セミナーなどで興味をもったから
- 5. 競合他社との兼ね合い
- 6. その他(具体的に：)

(Ⅲ-4) 導入していたアジャイル開発プロセス、手法：

プロジェクトで導入したアジャイル開発プロセス、手法について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. SCRUM
- 2. XP (extreme programming)
- 3. リーン
- 4. DAD (Disciplined Agile Delivery)
- 5. LeSS
- 6. SAFe (Scaled Agile Framework)
- 7. Scrum@Scale
- 8. Nexus
- 9. その他(具体的に：)

(Ⅲ-5)

(a) プロジェクトで導入したアジャイル開発プラクティスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。
IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド(Word)
<http://www.ipa.go.jp/archive/files/000029120.doc>

- () 1. ベロシティ
- () 2. バーンアップチャート
- () 3. バーンダウンチャート
- () 4. スプリントレビュー
- () 5. KPT (ふりかえり)
- () 6. レトロスペクティブ (ふりかえり)
- () 7. リリース計画
- () 8. イテレーション計画
- () 9. 朝会 (昼会、夕会なども)
- () 10. アジャイルコーチ
- () 11. インセプションデッキ
- () 12. ストーリーポイント
- () 13. かんばん
- () 14. タスクボード
- () 15. ストーリーマッピング
- () 16. プランニングポーカー
- () 17. チケット駆動
- () 18. プロダクトバックログ

(b) プロジェクトで導入したエンジニアリングプラクティスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- () 1. テスト駆動開発
- () 2. ペアプログラミング
- () 3. リファクタリング
- () 4. 継続的インテグレーション
- () 5. ユニットテスト自動化
- () 6. ビルド自動化
- () 7. 受け入れテスト自動化
- () 8. モブプログラミング
- () 9. コーディング標準

(Ⅲ-6) アジャイル開発に期待するもの、効果があったもの：

プロジェクトで、アジャイル開発に期待するもの、効果があったものについて、それぞれ当てはまるものを全て選択してください。

		期待する	効果があった
1	変更対応 (仕様、環境など) への柔軟性		
2	納期短縮		
3	コスト削減		
4	システム品質向上		
5	開発生産性向上		
6	無駄なものを作らない		
7	ビジネス価値創造		
8	顧客満足度向上		
9	開発者のモチベーションアップ		
10	チームの成熟度向上		
11	開発プロセス改善		
12	収益向上		
13	プロジェクトのリスク削減		
14	プロジェクトの可視性向上		

(Ⅲ-7) アジャイル開発を評価するメトリクス：

プロジェクトで、アジャイル開発を評価したメトリクスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. スケジュールの予実
- 2. コストの予実
- 3. 品質（障害件数など）の予実
- 4. 顧客満足度の予実
- 5. 開発者スキル育成の予実
- 6. ベロシティの予実
- 7. その他（具体的に： _____）

(Ⅲ-8) ビジネス価値の評価：

プロジェクトで、ビジネス価値を評価しましたか。

- 1. 評価した
- 2. 評価していない

(Ⅲ-9) (Ⅲ-8)で「1. 評価したことがある」とお答えした方にお尋ねします。

どのような評価方法を採用しているかご記入ください。

例) 売上高、利用者数など

(_____)

(Ⅲ-10) アジャイル開発で難しいと感じた点：

プロジェクトで、アジャイル開発で難しいと感じた点について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. お客様の理解と協力
- 2. 契約形態
- 3. 人材、スキル
- 4. 開発ツールやインフラ環境
- 5. 社内の理解と協力
- 6. 目標設定と人事評価
- 7. 上司の理解と協力
- 8. 品質の評価
- 9. 進捗の評価
- 10. その他（具体的に： _____）

(Ⅲ-11) アジャイル開発における協力体制：

プロジェクトにおけるステークホルダーとの協力体制について、もっとも当てはまるものをそれぞれ1つ選択してください。

a)顧客

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

b)上司

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

c)関係部署

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

d)チームメンバー

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(Ⅲ-12) アジャイル開発を適用しているチームの数 :

プロジェクトに参加しているチームの数(同一プロジェクトにおける数)を数字でご記入ください。

例) 10 チーム → 10

(Ⅲ-13) 1 チームあたりの規模 :

プロジェクトの1チームあたりの平均人数(小数点以下切り捨て)を数字でご記入ください。

例) 10.8 人 → 10 人

(Ⅲ-14) アジャイル開発受注時の契約形態 :

プロジェクトでは、アジャイル開発をどのような契約形態で受注しているか、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 請負契約
- 2. 準委任契約
- 3. 派遣契約
- 4. 受注していない(自社開発)
- 5. わからない
- 6. その他(具体的に:)

(Ⅲ-15) (Ⅲ-14)で「1. 請負契約」「2. 準委任契約」「3. 派遣契約」とお答えした方にお尋ねします。その契約になった理由について当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. アジャイル開発のため
- 2. 顧客が社内ルールでその契約以外で契約できないため
- 3. 顧客が瑕疵担保を必要としたため
- 4. その他(具体的に:)

以下の質問は、あなたがこれまでに経験したアジャイル開発プロジェクトをふまえてご回答ください。

(Ⅲ-18) アジャイル導入の際に、準備して役に立ったと思うことはなんですか。当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. 勉強会の実施
- 2. アジャイル研修への参加
- 3. 利害関係者との認識合わせ(WFとの違い、Why Agile?等)
- 4. 方向付け(インセプションデッキ等)
- 5. 運営ルール(ワーキングアグリーメント等)
- 6. プロジェクトルーム(物理的なモブプロスペース、オンライン上の集合場所等)
- 7. アジャイルコーチ
- 8. その他(具体的に:)

(Ⅲ-19) 導入していたアジャイルプロジェクト管理ツール：

プロジェクトで導入したアジャイルプロジェクト管理ツールについて、おすすめのものを3つまで選択してください。

- 1. Atlassian JIRA
- 2. Microsoft Excel
- 3. Microsoft Azure DevOps
- 4. Google Docs
- 5. Microsoft Project
- 6. Redmine
- 7. Backlog (株式会社ヌーラボ)
- 8. Pivotal Tracker
- 9. Trello
- 10. Asana
- 11. GitHub
- 12. Gitlab
- 13. 社内独自システム
- 14. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-20) 参考にしている書籍、Web サイト：

アジャイル開発を適用するにあたり、参考にしている書籍や、Web サイトはありますか。

- 1. はい (具体的に：)
- 2. いいえ

(Ⅲ-21) あなたは今もアジャイル開発プロジェクトに参画していますか？

- 1. はい
- 2. いいえ

(Ⅲ-22) (Ⅲ-21)でいいえと回答された方にお尋ねします。アジャイル開発をやめた理由：

アジャイル開発をやめた理由について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 期待した効果があがらなかった
- 2. 導入にあたっての準備不足
- 3. 開発者のスキル不足
- 4. プロジェクトが終了した
- 5. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-23) アジャイル開発を薦める可能性：

あなたがアジャイル開発を友人や同僚に薦める可能性についてもっとも当てはまるものを、1つだけ選択してください。

薦める可能性はまったくない

薦める可能性は極めて高い

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

IV. アジャイル開発の経験はない方にお尋ねします。

(IV-1) アジャイル開発の導入について：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイルを導入しようと考えていますか？

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらとも言えない
- 4. その他（具体的に： _____）

(IV-2) アジャイル開発に期待するもの：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発に期待するものについて、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 変更対応（仕様、環境など）への柔軟性
- 2. 納期短縮
- 3. コスト削減
- 4. システム品質向上
- 5. 開發生産性向上
- 6. 無駄なものを作らない
- 7. ビジネス価値創造
- 8. 顧客満足度向上
- 9. 開発者のモチベーションアップ
- 10. チームの成熟度向上
- 11. 開発プロセス改善
- 12. 収益向上
- 13. プロジェクトのリスク削減
- 14. プロジェクトの可視性向上
- 15. その他（具体的に： _____）

(IV-3) アジャイル開発導入にあたっての問題点：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発導入にあたっての問題点について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 人材
- 2. 発注、受注の契約形態
- 3. 組織の制約
- 4. その他（具体的に： _____）

(IV-4) アジャイル開発を導入しない理由：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発を導入しない理由について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 導入するメリットが明確になっていない
- 2. 導入できる人材がいない
- 3. 現在の開発プロセスで問題を感じていない
- 4. 導入時のデメリットが明確になっていない
- 5. 導入しなくても解決できる
- 6. その他（具体的に： _____）

